

タブレットP C活用授業記録

竹原市立中通小学校

□ 本時の概要

授業日	平成 25 年 7 月 2 日 (木)	学年	第 6 学年	教科等	音楽科
单元名	いろいろなひびきを味わおう ～ 合奏「ラバース コンチェルト」 ～				
本時の目標	それぞれの重なり合うひびきを互いに聴きながら、パートの役割を生かして合奏を行うことができる。				
活用アプリ等	カメラ (動画)				

□ 本時の展開

児童の活動	主な発問・指示 (◇) 及び児童の反応 (・)	指導上の留意点 (○)
1 ウォーミングアップをする。 ・合唱 ・リコーダー奏	◇練習を生かして歌ったりリコーダーを演奏したりしましょう。	
音の重なりや強弱に気を付けて合奏をしよう。		
2 グループごとにパートに分かれて、「ラバースコンチェルト」の練習をする。	◇グループごとに合奏の練習をしましょう。その際、タブレットで演奏の様子を撮影して、改善点を話し合いましょう。 ①試しの演奏 ②動画の視聴 → 改善点を話し合う ・鉄琴の音はもう少し小さい方がいい。 ・打楽器の音が大きすぎる。 ・楽器を少し変更した方がいいね。 ※ この活動を 2～3 回繰り返す。	○タブレットを活用して、お互いの演奏を記録させる。その演奏の様子を客観的に視聴させることで、改善点に気付かせる。 
3 それぞれのグループの演奏がどう変わったかを比べてみましょう。	◇タブレットに記録した映像を視聴して、最初の演奏と最後の演奏ではどのような違いがあるか比べてみましょう。 ・音のバランスがよくなっている。 ・楽器を変えたことで、音のひびきがよくなったね。	○1 回目の演奏と最後の演奏を比較させ、どのように変わったのかを話し合わせることで、音の重なりや強弱に気を付けて演奏することの大切さに気付かせる。
4 まとめの演奏をする。	◇最後にお互いのグループの演奏を聴き合い、感想を述べあいましょう。	

□ 本時の授業について (授業者のコメント)

通常自分たちの合唱・合奏の様子は、聴くことが難しいが、タブレットP Cを活用すれば、本実践のように、自分たちの演奏を客観的に視聴し、改善させることができる。